創薬力向上のための官民協議会　第 4 回施策検討・推進部会

2027 年の議題設定に関する意見書

早稲田大学ビジネススクール　牧 兼充

2026 年 11 月 13 日

私は、創薬力構想会議以来、構成員として創薬力向上に関する政策議論に一貫して関わってきた。創薬・医療・薬価を専門とする立場ではないが、これまでの議論を踏まえ、2027 年に本部会で継続的に議論すべき議題について、以下のとおり提案する。

1. ドラッグラグ、ドラッグロス及び米国 MFN 政策の影響について、質の高いエビデンスの収集・評価
2. 創薬エコシステムの更なる発展に向けた KPI の見直し
    - 短期施策と長期施策の KPI の区分、及び産業政策と危機管理の予算・KPI の分離
    - エビデンスとナラティブを組み合わせた国民に対する説明責任の拡充
3. 薬価の中期的な予見可能性を確保しつつ、薬価をめぐる課題に対応するための財源確保
4. 国債による先行投資と将来のリターンの還流を組み合わせた新たな財源の仕組みの検討（仮称「創薬エコシステム成長投資債」）
5. 国民皆保険を補完する民間保険制度の活用に向けた官民連携の検討
6. 創薬エコシステムの更なる発展に向けた内閣府・文部科学省・厚生労働省・経済産業省の連携強化と司令塔機能のあり方の検討（内閣府と内閣官房の役割の再整理を含む）
7. 官民協議会施策検討・推進部会として、国民の負託を受けた政治家に期待する政策判断の明確化
8. 中央社会保険医療協議会における薬価の決定プロセスを、産業政策及び危機管理の観点から支える体制の構築
9. 世界から投資を呼び込むための国際的な情報発信の強化
    - グローバルファーマ、ベンチャー・キャピタル等の創薬エコシステムのプレイヤーに対して政策の方向性を伝えるメッセージの内容と発信時期の検討